使用例

- 地上デジタル放送が開始されますと、アナログ放送用テレビに障害をあたえることがあります。この製品をテレビの前に挿入することで障害をなくすことができます。

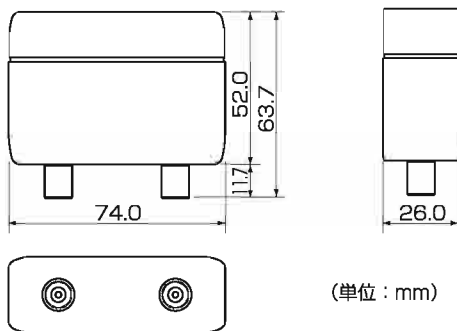
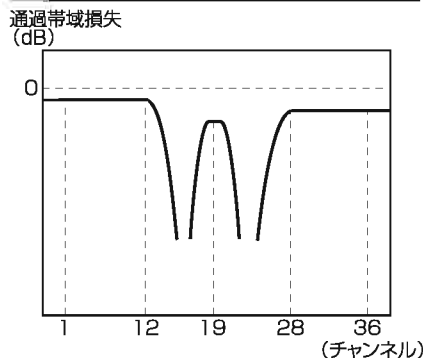
※UHFアンテナで受信した電波のなかから、アナログ放送帯域に混信をあたえるデジタル放送帯域（ch.13～17･22～26）の電波を減衰させます。

規格特性

品　　名	アナログテレビ混信保護用デジタル放送減衰フィルタ				
品　　番	UT-201J				
通過チャンネル（ch.）	1～12	19	28～36	入出力インピーダンス（Ω）	75（F形）
通過帯域損失（dB）	2.0以下	6.0以下	5.0以下	使用温度範囲（℃）	−10～+40
阻止チャンネル（ch.）	13～17･22～26			質　　量（kg）	0.1
阻止帯域減衰量（dB）	10以上				

規格は改良により、変更させていただくことがありますので、あらかじめご了承下さい。

外形寸法図

（単位：mm）

特性図

詳しいお問合せは、もよりのDX製品取扱店または下記のDXアンテナ各営業所をご利用ください。

･札幌支店 TEL.(011)822-1261(代)	･茨城営業所 TEL.(029)826-5341(代)	･三重営業所 TEL.(059)226-1643(代)	･広島支店 TEL.(082)237-5331(代)
･東北支店 TEL.(022)243-2141(代)	･千葉支店 TEL.(043)253-1121(代)	･金沢支店 TEL.(076)261-9988(代)	･岡山営業所 TEL.(086)245-2948(代)
･郡山営業所 TEL.(024)921-7131(代)	･横浜支店 TEL.(045)651-2557(代)	･富山営業所 TEL.(076)422-7878(代)	･高松営業所 TEL.(087)868-1222(代)
･東京西営業所 TEL.(03)3354-8451(代)	･静岡営業所 TEL.(054)281-0141(代)	･大阪支店 TEL.(06)6304-5651(代)	･松山営業所 TEL.(089)925-3826(代)
･東京東営業所 TEL.(03)3633-1411(代)	･浜松営業所 TEL.(053)461-6885(代)	近畿システム営業所 TEL.(06)6304-5658(代)	･福岡支店 TEL.(092)541-0168(代)
･東京システム事業部 TEL.(03)3341-5282(代)	･中部支店 TEL.(052)771-5106(代)	堺営業所 TEL.(072)278-5311(代)	･北九州営業所 TEL.(093)922-6556(代)
･多摩営業所 TEL.(042)572-4911(代)	･松本営業所 TEL.(0263)27-7801(代)	京都営業所 TEL.(075)382-6141(代)	･大分営業所 TEL.(097)504-7799(代)
･埼玉営業所 TEL.(048)652-3311(代)	･岡崎営業所 TEL.(0564)27-1516(代)	神戸支店 TEL.(078)974-7100(代)	･熊本営業所 TEL.(096)325-0711(代)
･宇都宮営業所 TEL.(028)659-1100(代)			･南九州営業所 TEL.(099)287-8211(代)
･新潟営業所 TEL.(025)276-2166(代)			･沖縄営業所 TEL.(098)874-6202(代)

（2004年3月現在）

DXアンテナ株式会社

本社/〒652-0807 神戸市兵庫区浜崎通2番15号 TEL.(078)682-0001(代)　東京支社/〒160-0022 東京都新宿区新宿2丁目11番4号 長崎第1ビル3F TEL.(03)3341-4569(代)
カスタマーセンター TEL.(078)682-0455 受付時間 9:30～12:00/13:00～17:00（土曜･日曜･祝日および夏季休暇･年末年始は除く）　ホームページアドレス http://www.dxantenna.co.jp/

3994-2

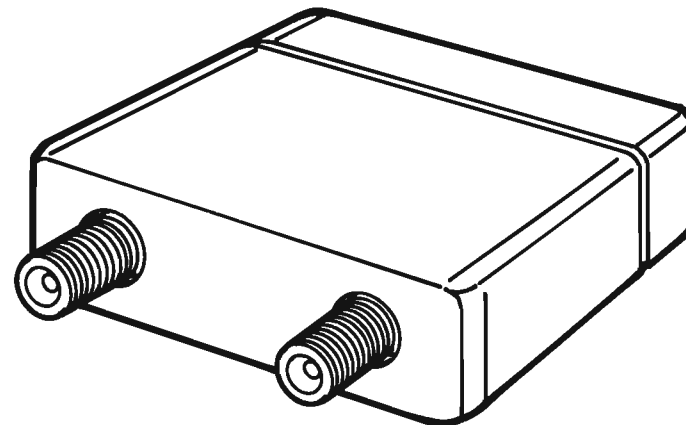
取扱説明書

このたびはDXアンテナ製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。

DXアンテナの製品を正しく理解し、ご使用いただくために、
ご使用の前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。

アナログテレビ混信保護用 デジタル放送減衰フィルタ

関西地区用　屋内用

UT-201J

製品の特長

- デジタル放送帯域の電波を減衰させ、アナログ放送との混信を防ぎます。
- デジタル放送帯域ch.13～17・22～26の電波を減衰させます。

安全上のご注意

	△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は警告または注意）が描かれています。
	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は接触禁止）が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は注意して行なってください）が描かれています。

警告

この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- テレビ受信関連工事には技術と経験が必要ですので、お買い上げの販売店もしくは工事店にご相談ください。
- 不安定な場所、高所など足場の悪い場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。
- この製品を煙突の付近や高温になる場所には設置しないでください。燃えたりして、火災や破損の原因となります。
- この製品は、非通電形です。電流を通過（同軸ケーブルを通して、この製品の出力側から入力側の前段のブースタに電源を送るなど）させないでください。回路がショートして、火災や感電の原因となります。
- 雷が鳴り出したら、この製品に触れないでください。感電の原因となります。

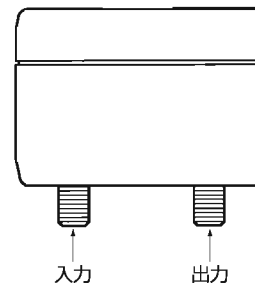
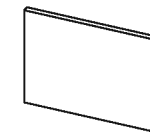
注意

この内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- この製品のケースを開けたり、分解したりしないでください。また、お客様による修理や改造はしないでください。けがの原因となりますし、性能維持ができなくなり、故障の原因となることがあります。
- この製品に接続する同軸ケーブルを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。故障の原因となることがあります。
- 取り付けネジや、ボルトや接栓は、締め付け力（トルク）に指定がある場合はその力（トルク）で締め付け、堅固に取り付け固定してください。落下や破損して、感電やけがや故障の原因となります。

お取扱いの前に

- 結線や取り付け作業は、この取扱説明書をよくお読みのうえで行なってください。
- この製品を落としたり、ぶつけたり、無理な力を加えることのないよう注意してください。

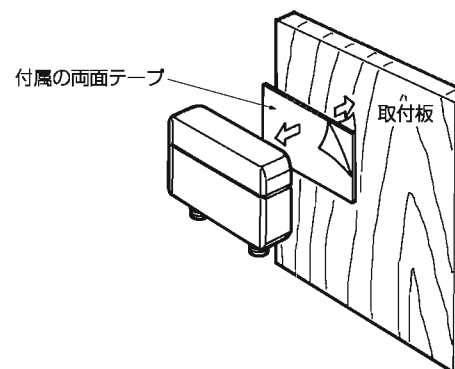
各部の名称

F-5接栓への同軸ケーブル加工方法（5C-2Vケーブル用）

- 同軸ケーブルの先端加工をする場合、心線、編組に傷をつけますと断線の原因になりますからご注意ください。また心線と編組は絶対に接触しないようにご注意ください。

- 接栓を取り付けた同軸ケーブルの心線が曲がっていないかよく確かめ、また心線を曲げないように接続してください。
- 設置後、同軸ケーブルが抜けたりしないようリングをしっかり締め付けてください。

※各端子にケーブルを接続するためのF形接栓は、使用する接栓により同軸ケーブルの加工方法が異なりますので、接栓の取扱説明書をご参照ください。

接栓締付トルク　2N・m

取付方法

- 商品の固定は、付属の両面テープで図のように取り付けてください。